

【理事会議事録】

日 時：2008年9月11日（木）12：30～13：30

場 所：岡山理科大学第25号館4階会議室

出席者 土佐，高田，花岡，田村，北本，堂谷，和田，中本，渡部，比田井，高羽，嶋作，福田（以上13名）

有効表決状提出者：柴橋（以上1名）

欠席者：國枝（以上1名）

その他に，東條事務長と次回，次々回の年会開催責任者として小川，藤沢両氏が出席した。

議事に先立ち，定款に従い議長を土佐理事長とした。また花岡，高田両庶務理事を署名人に選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認

高田庶務理事より資料1に基づいて前回議事録の説明がなされ，確認された。

2. 開催中の年会・その後の年会について

中本年会理事より開催中の年会について口頭で報告が行われた。記者会見には8社10名の記者が来たこと，既に3件の新聞報道を確認したこと，1日目午前中を終わった時点で登録者が450名であることが報告された。

小川氏より大阪府立大学で開催予定の次回の年会の準備状況について口頭で報告が行われた。新しい建物が大学内にできたので，年会を一括で開催できる目処がたった事，懇親会等の準備も順調であることが説明された。

また，藤沢氏より山口大学で開催予定の次々回の年会の準備状況について口頭で説明があり，講演会場の手配は問題なく進んでいる事，近隣の宿泊設備の確保のための対策を考慮中であることが報告された。

3. 小惑星・彗星・流星に関する国際会議

渡部教育理事より，2011年に日本で開催を予定している小惑星・彗星・流星に関する国際会議について，その会議の内容についての説明や天文学会による共催（資金的な援助は期待しない）に関する要請が，資料2に基づいて行われた。要請については受け入れることで話はまとまったが，共催・後援の別など詳細については今後詰めることとなった。

4. 百周年記念事業のまとめ（月報記事について）

天文学会創立百周年記念事業について，まとめを天文月報において会員に報告するための記事についての現状を高田庶務理事が口頭で報告した。2009年1月号において昨年度行った事業のまとめとして数ページに渡る報告を載せることで話が進行中。報告の責任者は誰なのかとの質問があり，國枝・柴橋両副理事長を中心にしてとりまとめを行う方向で話を進めることとなった。また，実際に行われた事業を確認し，各担当者の案を作成するのは庶務理事の宿題となった。

5. その他

(1) 天文学会の世界天文年の取り組み・シンポジウムについて

・東アジア天文学会の協力について

海部氏より提出された資料3に基づき，2009年に予定されている世界天文年に関しての東アジア天文学会の協力について，高田庶務理事が説明を行った。

現在，日中韓台の天文学会が協力して，世界天文年を記念した合同企画を開催する方向で話が急ピッチで進んでいる事，その中身としては，例えばある程度分野を限ったものとなるが，その分野で興味を持った人々が集まって行うワークショップ等が考えられていること，将来に渡ってはそれらを合同学会等に発展させていくことを視野に入れている事などが報告された。

とりあえず，天文学会としては協力をしていく事を前提に，ワーキンググループを組む形で取り組んでいくことを合意し，今後は國枝副理事長を中心として具体的な取り組みを行っていくこととした。

なお、天文学会が中心になって合同学会を開催するというのはすぐには難しいので、その為の組織作り等、万全な体制で臨むべきであるとの意見が多く出された。

議 題

1. 新入会員の承認

高田庶務理事より資料4に基づいて新規加入者等の承認について説明が行われ、承認された。また、退会者等についても報告が行われた。

2. 本年度末100年史編纂委員会の解散と内規抹消

高田庶務理事より、口頭で本年度末において100年史編纂委員会を解散する方向で話を進めたい旨説明が行われ、了承された。またそれに伴って内規の抹消の手続きが必要であることが確認され、了承された。

なお、評議員会において内規の抹消については決議される。

3. 天文学用語集の改訂について

高田庶務理事より、資料5に基づいて、天文学用語集の改訂について説明が行われた。これは、前回の評議員会で家氏より提案のあった、天文学用語集の改訂について、理事会において議論をして方向性を考えることが要請されていることに対応しての事である。

意見としては、天文教育等へのメリットなど、現在指摘されているものとは異なるメリットが感じられる必要があるのではないかと、資金としては科研費とかでカバーできるような体制にできないのか、方法としては百周年記念出版のindexを用いて行うことでやれないのかなど、様々な意見が出された。また一番の問題は誰を中心として行うのかということであり、事務局をちゃんと立ち上げ、原稿の取り立てなど、かなりしっかりした体制で臨む必要があるとの認識で一致した。前向きな方向での検討を行うことは良いが、まだ問題点が多いので継続審議とし、次期の理事に引き継ぐことで合意した。

4. その他

(1) 指定管理者制度に関する共同声明

天文教育普及研究会の松村氏より提出された資料6に基づいて、高田庶務理事が指定管理者制度に関する共同声明について説明を行った。天文教育普及研究会や日本公開天文台協会などが連名で行政機関に対して提出する指定管理者制度に関する共同声明に対して、日本天文学会も連名で参加することを要請している内容であること、過去の理事会や評議員会において指摘された箇所を修正して、かなり分かり易くなっていること、制度そのものは問わず、むしろ継続性と専門性の維持を訴える内容になっていることなどが説明された。

声明そのものは有効なものにはなるであろうとの認識で一致し、連名者として加わることは了承された。なお、付随コメントとして、せっかく提出したものが真面目に読まれないのは良くないので、マスコミ等を用いて積極的に声明の宣伝をするべきであることを松村氏に伝えることで合意した。

(2) 民間の助成や受賞に対しての学会からの推薦

高田庶務理事より、民間の助成や受賞に対しての学会からの推薦についての現状について配付資料によって説明が行われた。特に最近10年くらい受賞がないこと、推薦の仕方についてもっと積極的に行うべきであるとの意見を古在氏よりいただいている事などが紹介された。また、物理学会等の他学会でどのように取り組んでいるかについても補足説明が行われた。

意見として、林賞、若手賞などで推薦されたものを見繕って推薦するだけでも現状よりは積極的に推薦できるはずであり、まずは、大がかりな組織作りなどをしなくても良いのではないかと意見が出された。

この件については継続審議として次期の理事へ引き継ぐこととなった。

次回は1月10日（土）を予定。時間・場所は未定。

2008年10月3日

議 長 土佐 誠

署名人 花岡庸一郎
署名人 高田 唯史